

2020年度事業計画

磨き 輝き 集うまち 燕

【行動方針】

1. 観光イベント「つばめ桜まつり」「酒呑童子行列」開催による賑わいの創出
2. 燕市産業史料館をはじめとした市内各工場への視察団体の受入れ強化
3. 東京オリンピック開催に向けた外国人誘客(インバウンド)の取り組み
4. 国上山の自然並びに大河津分水を活用した観光資源の掘り起こし
5. タイムリーな情報発信と管理システムの強化

1. 観光イベント開催事業

14,456,000円

(1) つばめ桜まつり

(事業費 11,340,000円)

各種イベントやPR活動を計画しパンフレットも完成しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月2日の臨時実行委員会にて、参加者・来場者・関係者、すべての安全を第一に考え、中止決定となりました。なお、大河津分水桜並木の協賛掲出及び夜桜ライトアップについては、可能な範囲で実施いたします。

また、今後も引き続き次年度の開催に向け、関係各位と連携し、安全第一に準備を進めます。

◎つばめ桜まつり 4月6日(月)～19日(日)

夜桜ライトアップ 大河津分水桜並木・JR分水駅2番線ホーム・中之口川左岸

[中止イベント]

・さくらフェス 4月11日(土)・4月12日(日)

・第78回分水おいらん道中 4月19日(日)

(2) 酒呑童子行列

(事業費 3,116,000円)

「郷土に残る魅力的な鬼の伝説を基に、国上山周辺の観光資源を、地域の力で作り楽しむイベントやPR活動をとおり、広く市内外にPRする」という事業目的のもと、広い世代と地域への広報・誘客活動を展開します。

9月最終日曜日に開催するイベント当日は、参加・観覧したいと思える非日常の演出を、安全かつ円滑に実施します。

◎第16回酒呑童子行列 9月27日(日)

2. 受託事業

15, 102, 720 円

(1) つばめ産業観光推進事業

(事業費 : 8, 832, 920 円)

燕市の産業観光の受け入れ体制の強化及び整備を行うため、旅行業や観光に関する経験豊富な「観光ナビゲーター」を新たに増員し、3名体制で事業を推進します。企業視察コースの提案、当日オペレーション、来訪者への魅力発信を継続実施しながら、観光窓口ともなる史料館窓口での観光案内業務の充実や、新たな観光資源・体験型観光メニューの開発を行い、観光入込客数の増加及び、滞在時間の延長をはかり、リピーターの拡大に努めます。

(2) つばめ情報発信戦略事業

(事業費 : 528, 080 円)

情報発信の充実化をはかるため、当協会ウェブサイト内の各種観光ページ等の新規作成及び修正にかかるものや、情報漏えい等を防ぐために、各種システムの管理体制強化を行います。

(3) 燕市産業史料館企画運営事業

(事業費 : 5, 741, 720 円)

2019年度より燕市産業史料館内に当協会事務所を移転して、産業観光の拠点と位置付けた取り組みを行い、企画展の運営および入館者対応、観光案内業務など事業基盤を整えています。引き続き、誘客活動を行いながら、さらなる産業史料館の入館者増を目指し、上記「つばめ産業観光推進事業」、施設管理を担う「燕市」と連携して行います。

なお、外国人観光客受入体制の取組として、J N T O (日本政府観光局) 認定の観光案内所のパートナー窓口として申請中。

3. 観光プロモーション事業

1, 528, 000 円

(1) 観光プロモーション事業

(事業費 : 1, 528, 000 円)

これまで作成してきたパンフレット類の見直しをはかり、より普及効果のある燕の魅力情報を発信していくためのツールの媒体作成や、既存媒体等への広告掲載、公共施設等への告知、各種イベント出展などによるPR活動を展開し、燕市の知名度向上と誘客促進を行うと共に関係団体との連携を行います。

4. 観光資源活用事業

770,000 円

(1) 他団体支援事業 (事業費：760,000 円)

地域の歴史ある伝統行事「萬燈」や「吉田天満宮」の広報ポスター制作の支援、新潟県指定天然記念物である「八王寺の大白藤」の藤まつり開催に伴う、来場者の駐車場管理・整備の支援を行います。

また、良寛史跡ボランティアガイド「はちの子会」、里山エコトレッキングガイド「里山花とみどりの会」へ依頼を行い、観光地のホスピタリティの向上を目指します。

(2) 国上山山開き事業 (事業費：10,000 円)

国上山の山開きを山野草の開花シーズンに合わせて、実施します。

◎2021 年 山開き 3 月 21 日 (日)

燕市観光協会運営費

31,068,280 円

(1) 運営体制

燕市産業史料館の運営等にかかる業務量の増加や多様化、増税による各経費及び納税額が増加する中、各自効率化をはかり、一層の経費削減にむけて取り組みます。また、観光イベントや産業観光の促進を行い、来訪者の満足度向上、リピーターの増加に努め、地域への消費にも貢献していきます。

【参考】

協会が連携している団体組織等

1. 燕・弥彦広域観光連携会議 (燕市・弥彦村)
2. 県央地域観光振興会議 (県振興局・JR・周辺市町村・経営大学)
3. 燕三条ブランド推進会議 (地場産センター他)
4. 新潟県MICE推進連絡会議 (新潟県他)
5. 中越文化・観光産業支援機構 (長岡市他)
6. JTB関東交流文化誘致協議会 (JTB関東他)
7. 東北観光推進機構 (東北6県・JR他)